

会長挨拶

2020～2021年度 会長 村 越 孝 一

今年度、我孫子ロータリークラブは創立55周年を迎えます。その礎を築き、歴史を積み重ねて来られた多くの先輩諸兄に改めて感謝申し上げると同時に、その伝統と誇りを次世代へ引き継いでいく役目を担う責任を重く受けとめております。

さて2020-2021年度RIホルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く (Rotary Opens Opportunities)」というメッセージを発信しました。「扉の向こうには私たちロータリアンが自分自身を磨く為の新しい環境や学びの機会があるかもしれない。あるいは困っている人々の為に役立つ機会が待っているかもしれない。私たちはロータリーの活動を通じて培われる親睦と奉仕の精神で、あらゆる場面で自分の為に、そして他人の為に数々の奉仕に繋がる扉を開いていきましょう」という意味です。

そのメッセージを受け、漆原摂子ガバナーは「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を!」との地区スローガンを掲げました。本年度、我孫子ロータリークラブもこの地域社会で主役となって社会奉仕活動を実践して行きたいと思っております。そして同時に将来を見据えて国際的な奉仕活動も模索して行きたいと思っております。

ロータリークラブにおいて、その活動の根幹は「例会」であると考えます。内容はもちろんですが、運営の規律や出席の重要性を皆様に理解して頂く事が大切です。会場監督(SAA)とクラブ管理運営委員会が連携して、例会を充実させていきたいと思っております。

また現在は入会年度が5年未満の会員が半数を占める状況となりました。引き続き会員増強を図ると同時に経験の浅いメンバーには積極的に社会奉仕事業や親睦活動に参加して、奉仕の理念を実践する機会を提供して行きたいと思っております。

〈 活動計画 〉

- 1.例会の充実
- 2.婚活パーティーの実施
- 3.創立55周年記念例会の開催
- 4.純増3名の会員増強
- 5.家族交流親睦事業の実施
- 6.入会5年未満の会員に対する研修会の実施
- 7.中長期計画の策定
- 8.ロータリーのイメージ向上の為の広報活動
- 9.ロータリー財団・米山奨学金寄付への理解促進